



烏山地域
オウム真理教対策
住民協議会

新年の挨拶

二十年目を迎えて

烏山地域オウム真理教対策住民協議会
会長 古馬一行

あけましておめでとうございます。

2000年の一二月にオウム真理教が烏山に入ってきて、二十回目のお正月を迎えたわけです。地域の皆様には、これまでの温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。我々もオウム真理教との戦いがこれ程長くなると思いませんでした。

烏山にオウムが入った時

二十年前の年末、烏山上町会では役員会を開いておりました。その日は、45人ほどの役員がおりました。年末最後の役員会です。で、最後に一年のお礼を言い解散するはずでした。ところが、会議の最中に突然、烏山上町会のエリアにアレフが入ってくることを知りました。我々は「アレフって何」などと聞き返しておりました。すると誰かが「オウム真理教だ！」と言うと、会議室は大騒ぎになりました。

その時から、世田谷区と町会役員の監視活動が始まりました。その頃は、マンションの一階部分は空き状態で、以前あった幼稚園のものと思われる看板や机、椅子が散乱してお

り、また、庭の部分を囲むように貨物のコンテナが積んでありました。オウム真理教の信者の中には様々な人がいるらしく、一階部分を改修するのも信者自身で、暫くすると入口付近に古い畳が山積みになり、空き室内部に囲い仕切りなどの工事をしているようでした。一階部分はその後事務所と道場になる訳ですが、早急に出した指示のためか、いち早く畳が届けられ、内部に敷きこまねぬまま積まれた畳が雨に濡れており、これが使えるのかと思つたものです。

第一回目のオウム反対決起集会は、2001年一月九日に烏山区民会館で行われ、385人定員のところ、700人以上が詰め掛けて、会場に入りきれないほどでした。今のようなオウム真理教対策住民協議会の組織が出来、オウム対策協議会ニュースを発行して新聞折り込みで配布し、監視活動体制が出来上がったのは、同年四月でした。

大家がオウムを呼んだ

烏山のオウム問題が特異なのは、このマンションの管理人兼大家がオウム真理教を呼んだという事です。多くの事案は、契約時には身分を隠して入居し、その後にオウム真理教だと判って退去騒動になります。烏山の場合、自分の持っているマンションが空室だらけであることに窮し、その対策として足立区にいた上祐に手紙を書いたそうです。何通書

いたか知らないが、上祐はこの現場に二度程来て、決めたようです。相場より二〜三割高い賃貸料を払ってでも、この物件が世田谷にあり、大勢が収容でき、静かで交通の便が良く申し分ないと思つたのでしょうか。ここに居住する信者は最高で140人程までに膨れ上がった事もありますが、上祐は2007年にアレフと別れて「ひかりの輪」を立ち上げます。烏山には50人〜60人が残っていました。

現在の上祐

「ひかりの輪」設立当時、私が上祐の顔を見たのは二〜三度でした。当初は信者が多かったためか、上祐自身が表に出る頻度は少なく、運動不足の解消くらいに二階の廊下を真夜中に往復していました。それが今では、商店街でちよくちよく出会います。夏はジャージにサンダル履きで帽子を被っています。一人だったり女性信者と一緒だったり。冬にはそれにジャンパーを着て靴下を履いています。商店街を散歩するだけかと思つたら、スーパで買い物をしたり、時には天井屋に入ったり、コーヒーストップに入ったりもしています。一日に二度会うこともあるほどです。

現在「ひかりの輪」は、全国に約150人の信者がおり、7か所の施設があります。昨年札幌に出した施設を8月に閉じ、千葉県鎌ヶ谷市にあった施設も8月に退去しております。上祐たちはいつまで烏山に居るつもりだろうか。

我々は、烏山にオウム真理教がいる限り監視活動を続け、反対運動を継続してまいります。地域の皆様には、引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

第14回

リサイク ル

新品いっぱい パザー

物品提供
お願いします

4月11日(土) 午前10時

烏山区民センター前広場

1) 物品受付日時と場所

- 4月2日(木) 午前10時~12時 烏山区民センター 3階第6会議室
 - 4月3日(金) 午後1時~3時 烏山区民センター 3階第6会議室
 - 4月5日(日) 午前10時~12時 烏山区民センター 3階第6会議室
 - 4月7日(火) 午後1時~3時 烏山区民センター 3階第6会議室
 - 4月8日(水) 午前10時~12時 烏山区民センター 3階第6会議室
- ※烏山区民センターには駐車場はありません。

2) 受付物品

- 日用品 (石けん、タオル、シーツ、陶器類、乾物類など)
 - 衣料品 (子供服、婦人服、紳士服など新品、あるいはクリーニング済みのもの)
 - 雑貨 (アクセサリ、玩具、ハンドバッグ、靴、時計など)
- ※物品によってはお受け出来ないものもあります。
※陶器類・靴は新品に限ります。ご了承ください。

●お問い合わせ：03(3326)1202

法務大臣と公安調査庁長官に要請

オウム真理教対策関係市区町連絡会(近藤足立区長が会長)は、11月15日法務省を訪れ、法務大臣と公安調査庁長官に、オウム真理教(アレフ、ひかりの輪、山田らの集団)の活動停止・解散と住民の不安解消を図るために、規制強化と法整備などを求める要請書を手渡した。

足立区や世田谷区など13の市区の代表と、烏山地域オウム



真理教対策住民協議会と共に足立区、金沢市の住民協議会や、オウム真理教対策連盟の国会議員、都議会議員、区・市議会議員など37人が参加して、「無差別大量殺人行為を行った団体の規制に関する法律」に基づく観察処分の期限撤廃や、解散命令規定の新設及び不動産取得の制限を設けることなど、5項目の要請書を手渡した。

森法務大臣と公安調査庁長官には、近藤足立区長や古馬会長並びに参加者から、要請の趣旨や住民の不安と脅威、観察処分の更新などを訴えた。

地下鉄サリン事件当時弁護士だった森法務大臣からは、職場の同僚が直接被害に会い胸に迫る恐怖を抱いたことや、協議会の活動への感謝と住民の恐怖を早く払拭できるよう検討するなどの回答があった。

公安調査庁長官も、引き続き厳正な監視を続けると共に各自治体や住民協議会には適切に情報提供を行い、また、観察処分の更新は、市・区議会議員からの要請に、地域住民を代表する意見として積極的に聞き入れる旨の意向を示した。

足立で21回目のデモ

11月17日(日曜日)午前9時40分、足立入谷地域オウム真理教(アレフ)対策住民協議会(水上久志会長)は、入谷八丁目公園に集合し、アレフに対する抗議運動として21回目のデモ行進を行なった。アレフ施設前で抗議文を読み上げ、足立区立入谷中学校まで行進し、デモの後中学校で住民集会を開催した。

デモには、足立入谷地域の対策住民協議会をはじめ、各町会名のプラカードを持った地域住民、足立区長、東京都議会議員、足立区議会議員と共に、烏山地域オウム真理教対策住民協議会と世田谷区から古馬会長を含め5人が参加し総勢150人となった。

デモ行進の前には水上会長と近藤区長が、一昨日、森法務大臣と公安調査庁長官に、アレフへの規制の強化と解散に向けた法改正の要請を行ったことを報告し、今回で21回目のデモとなるが、未だに活動を続けるアレフの解散に向けての活動と監視強化の継続には区議会の応援が必要だと力強く挨拶した。古馬会長も、この足立のアレフ対策が重要で、今後も協議会同士の情報共有を図り共に活動していくことを強く表明し挨拶とした。

午前10時、先導する広報車の後に水上会長、近藤区長や議長が、オウム断固反対の横断幕を掲げながら、「入谷にオウムは要らないぞ」「我々はサリン事件を忘れないぞ」

「名前を名乗らず信者勧誘はやめろ」「麻原を捨てて真人間に戻れ」「親を泣かせるな、脱会して家に帰れ」と新たなシュプレヒコールとのぼり旗を持って、デモ行進を開始した。

アレフ施設前では、抗議文を読み上げ、信者に出て来て抗議文を受け取るように促したが誰も姿を見せぬため、抗議文を郵便受けに入れデモ行進を続けた。

中学校の住民集会では、水上会長や近藤区長などの挨拶の後、住民協議会の活動報告やオウム真理教家族の会代表の永岡弘行氏による講演と、公安調査庁からアレフの状況についてパワーポイントを使った情報提供が行われ12時に解散となった。



住民協議会活動報告

12月10日(火) オウム真理教問題講演会参加
12月19日(木) 実行委員会
1月8日(水) 事務局会議
1月16日(木) 給田・烏山地区合同新年会で募金活動
1月24日(金) 実行委員会

1月27日(月) 編集会議 協議会ニュース192号初校正
2月2日(日) 中学生のつどいで募金活動
2月3日(月) 編集会議 協議会ニュース192号再校正
2月6日(木) 事務局会議
2月11日(火・祝) 住民協議会ニュース192号発行
2月11日(火・祝) からすやま新年子どもまつりで募金活動

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。